

Market Watching

市場レポート

テーマ: Weekly Market Report (2007年8月6日～)
～材料薄の中、次第に落ち着きを見せるか～

発表日: 2007年8月6日 (月)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 鷹峰 義清 (03-5221-4521)

今週のスケジュール

今週の経済指標・イベント・注目材料

発表日	国	指標・イベント	注目度	コンセンサス	レンジ	前回	備考
8月6日(月)	日本	景気動向指数(6月)・先行D I		77.8%	77.7~88.9%	60.0%	
		一致D I		80.0%	60.0~80.0%	40.9%	
	欧州	独製造業受注(6月)		▲1.0%	▲2.4~+0.8%	+3.2%	前月比
		英鉱工業生産(6月)		+0.1%	▲0.1~+0.4%	+0.6%	前月比
8月7日(火)	日本	月例経済報告					
		臨時国会召集(10日までの4日間)	★★				
		2007年度年次経済財政報告(経済財政白書)公表					
		10年物価連動債入札	★				
	欧州	独鉱工業生産(6月)	★	+0.5%	▲0.1~+0.8%	+1.9%	前月比
	米国	非農業労働生産性(4~6月期)	★★★	+2.0%	+1.0~+2.8%	+1.0%	前期比年率
		単位労働コスト(4~6月期)	★★★	+1.8%	▲0.3~+3.5%	+1.8%	前期比年率
FOMC		★★	±0bp	±0bp	±0bp	F F金利変更幅	
	消費者信用残高(6月)		+60	+30~+100	+129	億ドル・前月差	
8月8日(水)	日本	機械受注(6月):除船電・民需	★★★	▲1.0%	▲5.2~+3.5%	+5.9%	前月比
		マネーサプライ(7月)・M2+C D		+1.9%	+1.7~+2.4%	+1.8%	前年比
		景気ウォッチャー(7月)・現状判断D I				46.0	
	欧州	インフレーションレポート					
	米国	ミネアポリス連銀総裁講演	★				
		10年債入札	★★				
8月9日(木)	日本	5年債入札	★				
	欧州	E C B月報	★				
	米国	ミネアポリス連銀総裁講演	★				
		30年債入札	★				
8月10日(金)	日本	企業物価指数(7月)・国内	★	+0.6%	+0.2~+0.8%	+0.1%	前月比
		消費者態度指数(7月)・一般世帯		46.0	45.5~46.1	45.2	
	欧州	-					
	米国	輸入物価(7月)	★	+0.9%	+0.2~+2.0%	+1.0%	前月比
財政収支(7月)			▲324	▲191~▲400	▲332	億ドル	
8月11日(土)		-					
8月12日(日)		-					

(注) 市場コンセンサス、予測レンジは各種ベンダー調査に基づく
注目度は筆者

【債券市場】: 図表は3~4ページ

先週は、長期ゾーンは世界的に低下したものの、短期ゾーンはまちまち。米国では、サブプライムローン
を材料に一喜一憂し、長短金利とも上下にぶれる展開が続いた。しかし、週末の雇用統計が市場予想を下回
ると、短期ゾーン中心に金利は大きく低下した。

今週は、米国では前週末の金利低下は行き過ぎとの見方から、金利は幾分上昇しよう。米国での注目は7
日(火)の労働コストとFOMC。F e dは、インフレ警戒感を緩めているとは考えにくく、粋すぎた金利
低下期待や利下げ期待は後退しよう。日本では、週半ばの機械受注が注目される。前月大幅増からの反動減
が見込まれるが、市場予想を上回るような内容であれば、こちらも行き過ぎた悲観論は薄らごう。

【株式市場】: 図表は5ページ

先週は、前週に続き世界的にほぼ全面安。火曜日以降、N Yダウは連日100ドルを大きく超える値動きとな
るなど、ボラタイルな一週間となった。週末までは、サブプライムローンに絡んだ問題を材料に推移した後、

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足
ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内
容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

週末の雇用統計下ブレを受けて急落した。日本を含めた他の市場も、米国の動向に連動する形となった。

今週は、引き続き方向感無く、ボラティリティーの高い週になる公算が大きい。特に、サブプライムローンに関しては引き続き個別金融機関やファンドのニュースにも要注意。米国では、FOMCでインフレ警戒感が特に緩んでいないことが明らかになると見られることも、株にとってはマイナス材料。自立的に持ち直すには、ファンダメンタルズ全体の方向性は上向きであるなどの確証が欲しいところ。日本を含めた他の市場も、落ち着かない米株の動きに翻弄される状況が続こう。特に週明けのアジア市場は、前週末の米雇用統計の下ぶれと、それに伴う株安を織り込んでいないため、一段安となる公算大。日本株は円高も絡んで急落となろうが、春以降他市場に遅れて上昇してこなかったこともあり、株安一服後は相対的には底堅いと予想。

【為替市場】：図表は6ページ

先週は、日本円その他欧米通貨はドルに対して上昇する一方で、日本を除いたアジア通貨はドルに対して弱含みが目立った。主要通貨の対ドルでの上昇は、専ら雇用統計の下ブレなどによるもの。特に、円やユーロは、米雇用統計が明らかになるまでは前週末からほぼ横ばい圏内で推移していた。

今週は、比較的落ち着いた推移となると予想。週初は前週末の余韻を引きずってドル安が続く可能性がある。しかし、FOMCではインフレに対する警戒感が緩まるとは考えにくく、ドルの一段の下落を促すような材料はない。リスク性資産からの資金流出と円キャリートレードの巻き戻しという発想から、多少の円高進展は見込まれるものの、株安など一服すれば主要通貨に対してドルはやや戻りを見せる公算が大きい。

【商品市場】：図表は7ページ

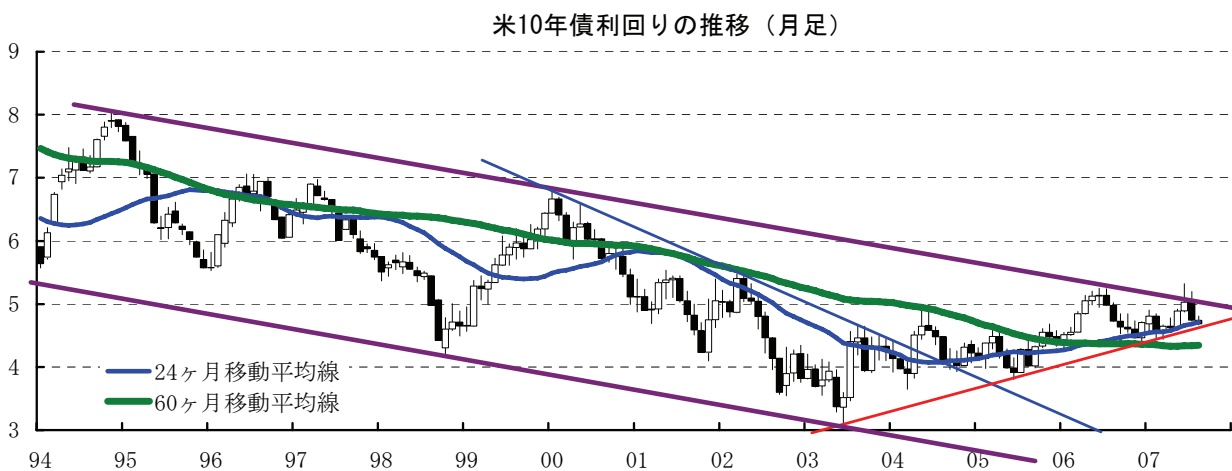
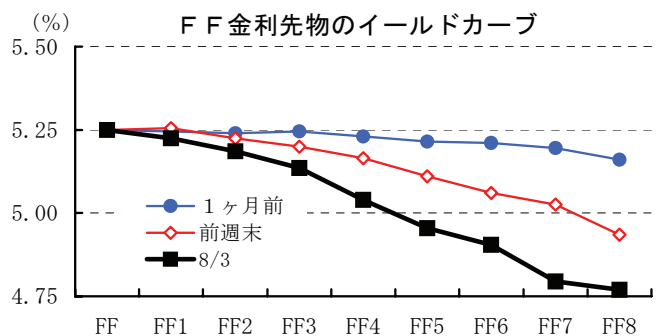
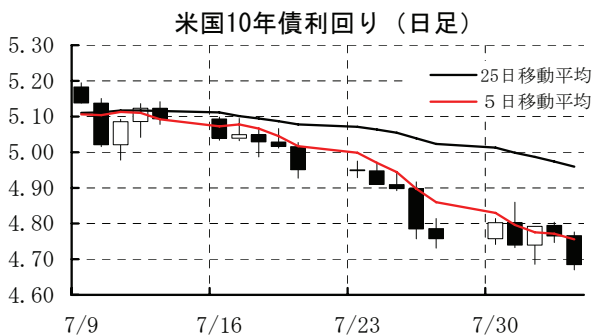
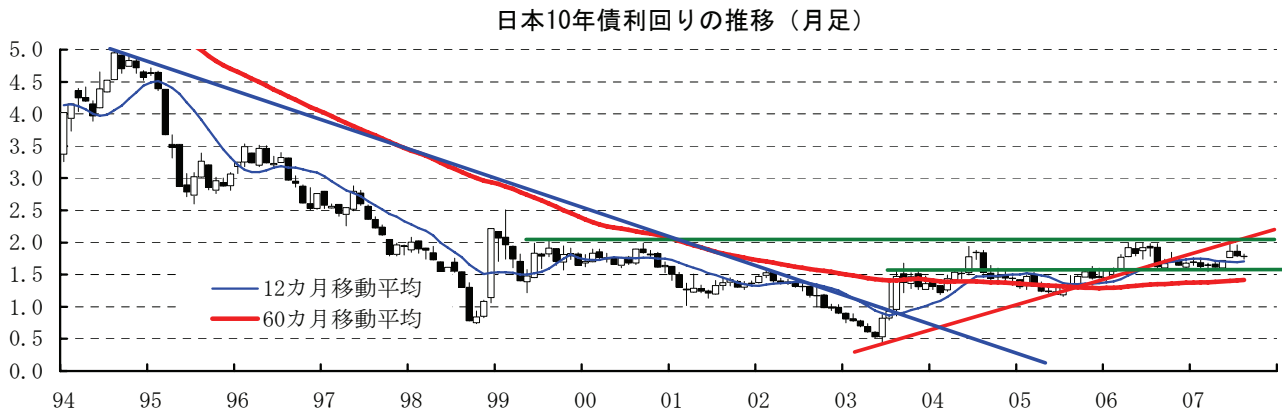
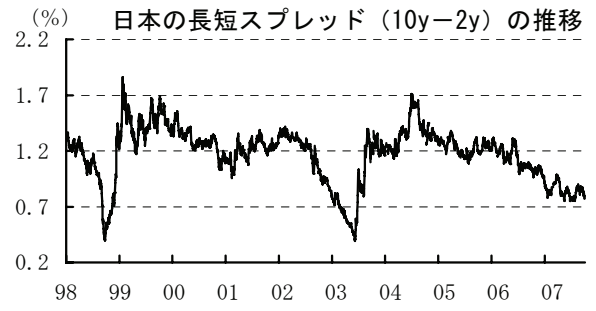
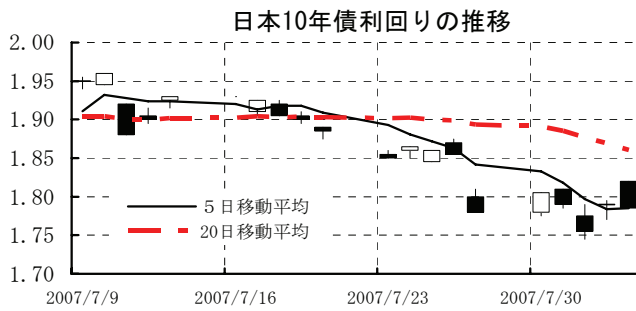
先週は、まちまち。WTIは、8月1日に史上最高値を更新する1バレル=78.77ドルをつけた後、石油製品在庫の増加が明らかとなったことなどから軟調に転じ、同75.48ドルで越週した。他の商品は、方向感無くほぼ横ばい圏での推移となった。

今週は、全体として大きな材料はなく、引き続き方向感のない展開が続こう。

[債券市場]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き								
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間			
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間	2週間	
2年	日本	0.990	+17	▲5	+1	+13	▲2	+5	+12	+4	▲4	▲2	▲6
	米国	4.417	▲57	▲46	▲8	▲27	▲7	+2	+32	▲5	▲34	▲15	▲27
	イギリス	5.601	+72	▲14	+0	▲16	+12	+7	+23	+2	▲21	▲8	▲20
	ドイツ	4.278	+70	▲17	+1	▲9	+14	+11	+27	+7	▲16	▲10	▲15
	スイス	2.794	+79	▲12	▲2	▲16	+3	+6	+30	+8	▲7	▲12	▲12
	スウェーデン	4.290	+84	+9	▲2	▲23	+13	+18	+7	+19	+10	▲6	▲6
	ポーランド	5.216	+28	▲3	+6	+13	+7	+15	▲2	+37	+2	▲3	+2
	カナダ	4.612	+45	+1	+3	▲12	▲1	+16	+44	▲1	+3	▲5	▲4
	メキシコ	7.597	+23	+11	▲3	▲15	▲34	+19	▲3	+1	+5	▲3	▲13
	ニュージーランド*	7.782	▲121	▲47	+2	▲4	+29	▲22	+10	+9	▲50	▲19	▲2
	オーストラリア	6.371	+45	+0	+3	▲13	+24	▲16	+13	+20	▲3	▲7	+1
	韓国	5.238	+43	▲9	▲7	▲15	▲5	+23	▲7	+13	▲2	+1	▲15
	シンガポール	2.420	▲57	▲1	▲6	▲8	▲40	▲19	+0	+10	+2	+1	▲1
	タイ	3.344	▲202	▲17	+1	▲24	▲54	▲36	▲31	▲35	▲19	▲16	▲2
インド	7.448	+31	▲8	▲32	+56	▲6	+19	▲22	▲9	▲37	▲26	+6	
10年	日本	1.785	▲20	▲7	+0	▲7	+2	▲3	+13	+12	▲8	▲4	▲11
	米国	4.684	▲27	▲35	▲7	▲24	+8	▲2	+27	+14	▲29	▲14	▲19
	イギリス	5.184	+45	▲28	▲1	▲18	+17	+7	+21	+21	▲25	▲18	▲11
	ドイツ	4.317	+34	▲25	▲1	▲14	+10	+10	+27	+15	▲23	▲18	▲11
	スイス	3.056	+34	▲20	▲5	▲7	+14	+5	+28	+16	▲10	▲20	▲7
	スウェーデン	4.258	+36	▲21	▲2	▲24	+13	+17	+18	+22	▲18	▲12	▲12
	ポーランド	5.580	▲2	▲7	▲2	+6	▲2	+12	+0	+31	▲4	▲3	+2
	カナダ	4.470	+11	▲8	▲2	▲15	+8	+4	+34	▲6	▲2	▲9	▲7
	メキシコ	7.799	▲61	▲18	+1	▲11	▲42	+8	▲14	+15	+0	▲6	▲15
	ニュージーランド*	6.407	▲62	▲24	▲27	▲19	+11	+17	+29	+33	▲7	▲5	▲20
	オーストラリア	5.950	+16	▲20	▲2	▲25	+19	▲0	+14	+24	▲23	▲9	▲18
	韓国	5.340	+36	▲20	▲4	▲10	▲3	+22	▲17	+20	▲14	▲1	▲19
	シンガポール	2.900	▲60	+4	▲7	▲10	▲17	▲23	+24	▲6	+12	+0	+1
	タイ	4.687	▲80	+16	▲17	▲25	▲23	▲42	▲1	+62	▲13	▲15	+6
インド	7.877	▲41	▲21	+5	+22	▲1	+21	▲9	+6	▲30	▲14	+2	
長短スプレッド	日本	+79.5	▲37	▲2	▲0	▲19	+4	▲8	+1	+8	▲4	▲3	▲5
	米国	+26.7	+29	+11	+0	+3	+15	▲4	▲5	+19	+6	+1	+8
	イギリス	▲41.7	▲27	▲14	▲1	▲2	+5	+0	▲2	+18	▲4	▲10	+9
	ドイツ	+3.9	▲35	▲8	▲1	▲5	▲4	▲2	+0	+8	▲6	▲8	+3
	スイス	+26.2	▲44	▲7	▲3	+10	+11	▲1	▲2	+8	▲3	▲9	+4
	スウェーデン	▲3.2	▲48	▲30	+1	▲1	▲0	▲1	+10	+3	▲28	▲5	▲7
	ポーランド	+36.4	▲30	▲4	▲8	▲7	▲9	▲3	+2	▲5	▲6	+1	+0
	カナダ	▲14.2	▲34	▲9	▲5	▲2	+9	▲12	▲10	+6	▲5	▲3	▲3
	メキシコ	+20.2	▲84	+7	+4	▲4	▲8	▲11	▲11	+14	▲5	▲3	+2
	ニュージーランド*	▲137.5	▲59	▲71	▲29	▲15	▲19	▲5	+19	+24	▲58	▲13	▲17
	オーストラリア	▲42.1	▲29	▲20	▲4	▲12	▲5	+16	+1	+4	▲20	▲2	▲19
	韓国	+10.2	▲7	▲11	+3	+5	+2	▲1	+10	+7	▲13	▲2	▲4
	シンガポール	+48.0	▲3	+5	▲1	▲2	+23	▲4	+24	▲16	+10	▲1	+2
	タイ	+134.3	+122	+33	+16	▲1	+31	▲6	+31	+27	+31	+1	+8
インド	+42.9	▲72	▲13	▲26	▲34	▲7	+2	+14	+15	+7	+12	▲4	

(注) 「変化幅」は、直近値までの変化幅。プラスは金利の上昇を示す。
「過去の動き」は当該期間の変化幅(例: 4週間=4週間前の週間変化幅、6カ月前=6カ月前の月間変化幅)を示す。
直近値の単位は%、ただし長短スプレッドはbp。直近値以外の単位はbp。
網掛け太字は当該期間で最も低下幅の大きい(上昇幅の低い)金利、太斜字は最も上昇幅の大きい(低下幅の低い)金利を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任を負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[株式市場]

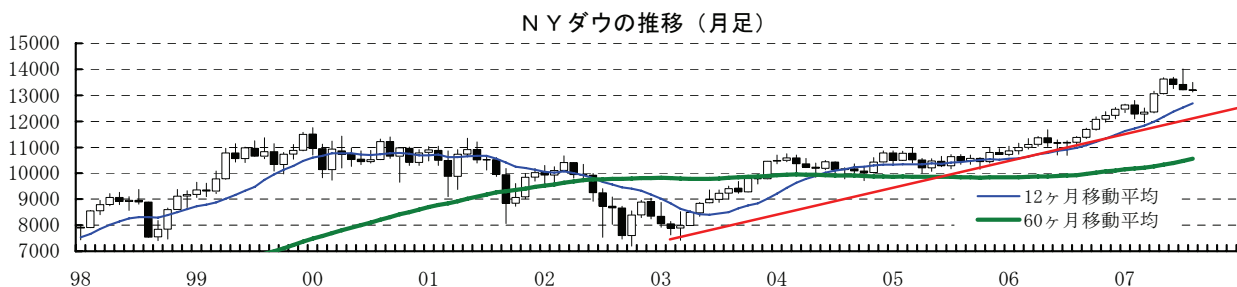
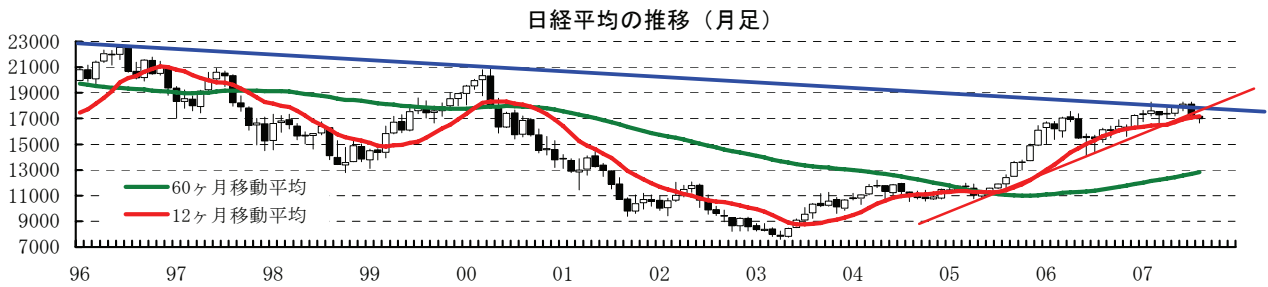
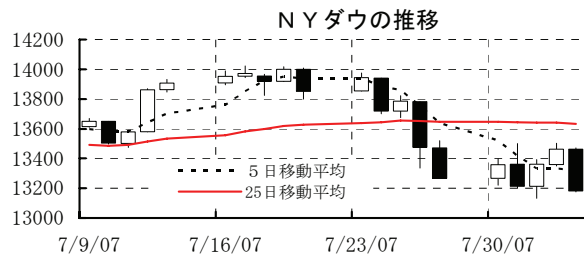
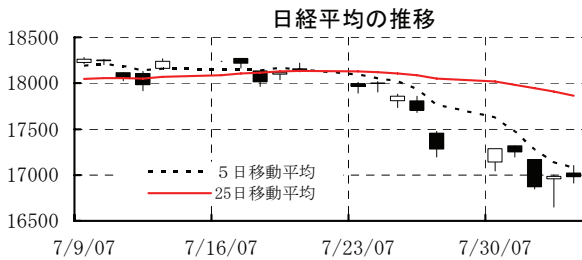
		直近値	直近までの変化率			過去の動き							
						月間						週間	
			1年前～	1月前～	前週末～	6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前
日本	日経平均	16979.86	+9.8	▲6.4	▲1.8	+1.3	▲1.8	+0.7	+2.7	+1.5	▲4.9	▲0.4	▲4.8
	TOPIX	1672.54	+6.6	▲6.1	▲1.6	+1.8	▲2.2	▲0.7	+3.2	+1.1	▲3.9	▲0.4	▲4.3
	日経店頭	2035.05	▲8.1	▲4.4	▲0.1	▲1.3	▲2.5	▲3.8	+0.7	+2.7	▲2.7	▲1.6	▲2.0
米国	N Yダウ	13181.91	+17.2	▲2.9	▲0.6	▲2.8	+0.7	+5.7	+4.3	▲1.6	▲1.5	▲0.4	▲4.2
	S P500	1433.06	+11.9	▲6.0	▲1.8	▲2.2	+1.0	+4.3	+3.3	▲1.8	▲3.2	▲1.2	▲4.9
	ナスダック	2511.25	+20.0	▲5.1	▲2.0	▲1.9	+0.2	+4.3	+3.1	▲0.0	▲2.2	▲0.7	▲4.7
	フィテ ^ル フイ ^ア 半 ^導 体	487.63	+17.5	▲3.5	▲2.9	+3.2	▲1.7	+5.9	▲0.9	+2.6	▲0.4	+1.3	▲6.4
イギリス	F T100	6224.30	+6.6	▲6.3	+0.1	▲0.5	+2.2	+2.2	+2.7	▲0.2	▲3.8	▲2.0	▲5.6
ドイツ	D A X	7435.67	+31.8	▲7.6	▲0.2	▲1.1	+3.0	+7.1	+6.4	+1.6	▲5.3	▲2.7	▲5.4
欧州	ダウ欧州50	3718.31	+8.8	▲6.2	▲0.1	▲2.5	+1.2	+4.0	+1.9	+0.4	▲3.9	▲2.1	▲4.9
スウェーデン	ストックホルムOMX	1220.76	+30.1	▲4.2	+0.4	▲2.4	+4.9	+4.9	+0.2	▲1.7	▲0.9	▲2.0	▲5.3
ポーランド	ワルシャワWIG	61684.42	+41.8	▲7.4	▲1.5	▲4.9	+10.8	+4.0	+6.3	+4.0	▲3.6	▲1.1	▲4.1
ロシア	R T	1970.75	+23.5	+1.6	+0.2	+0.8	+4.2	▲1.1	▲7.0	+6.6	+5.1	+0.4	▲5.0
メキシコ	ボルサ	29671.77	+46.4	▲7.6	▲1.9	▲3.3	+7.9	+0.9	+8.3	▲0.8	▲1.6	▲1.4	▲5.3
ブラジル	ボベスバ	52846.38	+41.1	▲5.1	▲0.1	▲1.7	+4.4	+6.9	+6.8	+4.1	▲0.4	▲0.3	▲7.9
アルゼンチン	メルバル	2148.42	+25.2	▲3.7	▲0.1	▲0.1	+1.7	+2.5	+4.1	▲2.3	▲0.5	▲0.5	▲5.6
N Z	ニュージーランドSX50	4122.41	+15.1	▲2.6	▲2.9	▲2.8	+1.7	+2.1	+2.6	▲1.6	▲0.5	+1.8	▲1.7
オーストラリア	A S 200	6021.00	+20.5	▲4.4	▲5.0	+1.0	+2.8	+2.9	+2.4	▲0.6	▲2.1	+0.5	▲1.3
香港	ハンセン	22538.44	+32.2	+1.7	▲0.1	▲2.3	+0.8	+2.6	+1.6	+5.5	+6.5	+0.8	▲3.1
韓国	総合	1876.80	+45.3	+3.9	▲0.3	+4.2	+2.5	+6.2	+10.3	+2.5	+10.9	+1.0	▲5.1
台湾	加権	9057.82	+40.2	+0.7	▲1.1	+2.6	▲0.2	▲0.1	+3.4	+9.1	+4.5	+1.2	▲4.4
シンガポール	S T	3436.04	+39.8	▲3.7	▲1.6	▲0.4	+3.8	+4.0	+4.5	+1.1	▲0.0	▲0.1	▲4.3
タイ	S E T	837.73	+19.1	+3.0	▲3.0	+3.5	▲0.5	+3.8	+5.5	+5.3	+10.7	▲1.0	+1.5
インド	ムンバ ^イ SENSEX30	15138.40	+38.6	+2.2	▲0.6	▲8.2	+1.0	+6.1	+4.8	+0.7	+6.1	+1.9	▲2.1
中国	上海A	4784.39	+184.3	+16.9	+5.0	+3.3	+10.6	+20.6	+6.8	▲7.0	+16.9	+3.7	+7.0
サウジアラビア	サウジ ^証 取 ^株 価	7581.37	▲29.5	+8.5	▲0.7	+16.1	▲3.5	▲5.9	+0.9	▲7.0	+8.1	+0.7	+1.8
クウェート	クウェート総合	12438.7	+34.2	+2.4	▲0.4	+0.4	+4.8	+4.8	+7.3	+5.6	+3.4	+0.4	+0.6
U A E	ドバイ ^金 融 ^市 場	4251.58	+2.5	▲5.7	▲1.9	+1.3	▲10.7	+2.5	+17.1	▲1.5	▲3.1	▲3.3	▲0.6

(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは株価の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化率(例: 4週間前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。

直近値以外の単位は%。

網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)株価、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)株価を示す。

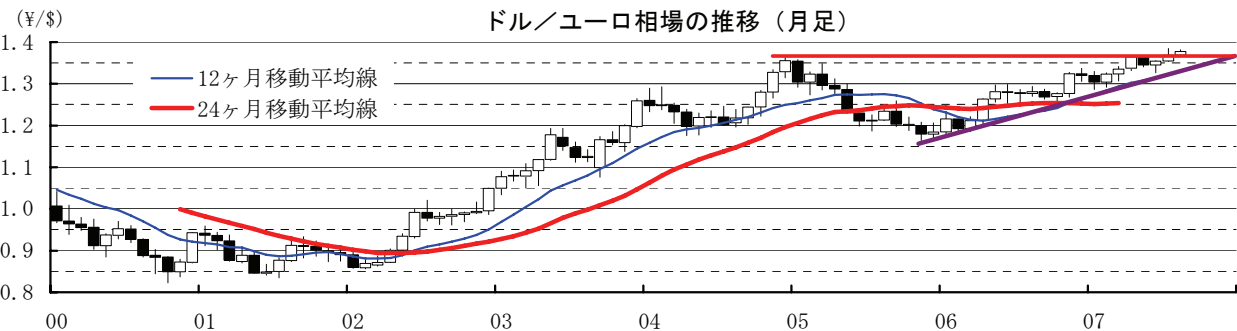
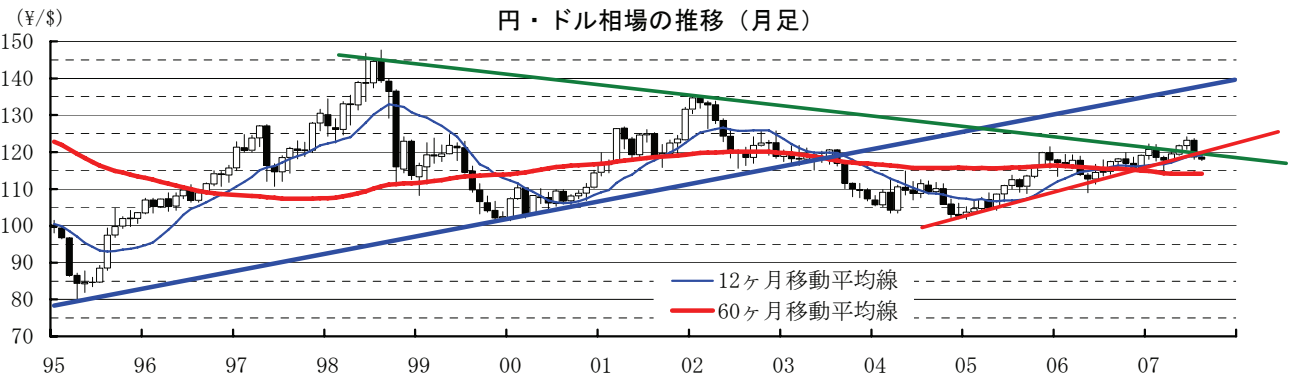
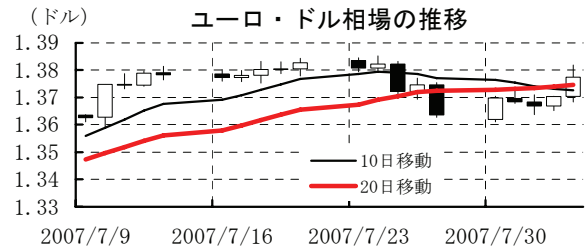
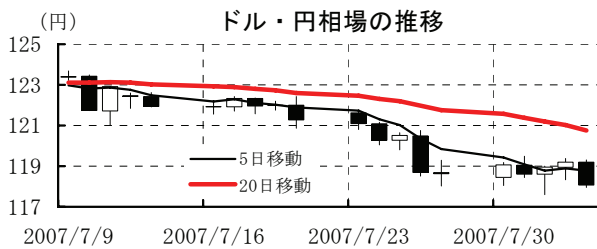


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[為替]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間		
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前
日本円	118.06	▲2.7	+3.6	+0.5	+1.8	+0.6	▲1.4	▲1.8	▲1.2	+3.7	+0.5	+2.2
ユーロ	1.3774	+7.6	+1.2	+1.0	+1.5	+0.9	+2.2	▲1.4	+0.7	+1.0	+0.3	▲1.4
イギリスポンド	2.0406	+8.1	+1.2	+0.8	▲0.1	+0.2	+1.6	▲1.0	+1.5	+1.1	+1.1	▲1.6
スイスフラン	1.1907	+3.3	+2.1	+1.5	+2.0	+0.3	+0.7	▲1.5	+0.3	+1.7	+0.1	▲0.6
スウェーデンクローナ	6.7242	+6.6	+0.6	+0.3	▲0.7	+0.2	+4.1	▲3.3	+1.2	+1.5	+0.2	▲1.7
ポーランドズロチ	2.7542	+9.7	+0.4	+1.3	+1.4	+2.0	+4.1	▲2.0	+1.7	+0.4	▲0.1	▲2.4
ロシアルーブル	25.492	+4.7	+0.7	+0.3	+1.3	+0.5	+1.1	▲0.8	+0.6	+0.7	+0.3	▲0.7
カナダドル	1.0569	+6.1	+0.4	+0.7	+0.6	+1.4	+3.8	+3.7	+0.3	▲0.1	▲0.1	▲1.5
メキシコペソ	11.002	▲0.4	▲2.1	+0.1	▲1.5	+1.1	+0.7	+2.1	▲0.6	▲1.7	▲0.3	▲2.0
ブラジルリアル	1.899	+12.7	+0.6	▲0.3	+0.3	+2.8	+1.2	+5.6	▲0.5	+2.4	+0.3	▲2.0
アルゼンチンペソ	3.141	▲2.4	▲1.6	▲0.7	+0.3	+0.0	+0.3	+0.4	▲0.5	▲1.1	▲0.5	▲0.0
NZドル	0.761	+22.9	▲2.6	▲0.6	+1.5	+1.9	+3.6	▲0.5	+4.9	▲1.3	+1.3	▲4.0
オーストラリアドル	0.8547	+12.3	+0.0	+0.4	+1.4	+2.6	+2.7	▲0.3	+2.6	+0.3	+1.0	▲3.2
韓国ウォン	925.10	+4.2	▲0.8	▲0.3	▲0.1	+0.2	+1.1	+0.2	+0.5	+0.3	+0.1	▲0.8
台湾ドル	32.895	▲0.1	▲0.4	▲0.0	▲0.1	▲0.2	▲0.9	+1.0	+0.5	▲0.1	+0.1	▲0.3
シンガポールドル	1.5166	+3.9	+0.4	▲0.0	+0.5	+0.8	▲0.2	▲0.6	▲0.1	+0.9	+0.3	▲0.3
タイバーツ	29.69	+21.6	+6.4	▲2.0	+2.6	+4.4	▲1.4	▲0.2	+3.6	+5.2	+1.9	+2.8
インドネシアルピア	9338	▲2.5	▲3.7	▲1.1	▲0.4	+0.1	+0.3	+2.9	▲2.3	▲2.3	▲0.9	▲1.6
インドルピー	40.38	+13.3	+0.5	+0.5	▲0.3	+1.8	+5.3	+1.5	▲0.3	+0.6	+0.2	▲0.7
中国人民幣	7.569	+5.1	+0.35	▲0.08	+0.41	+0.22	+0.20	+0.76	+0.50	+0.48	+0.00	+0.14

(注) 為替レートは全て対ドルレート。ただし、ユーロ、豪ドル、NZドルは当該通貨から見たドル建て。
 「変化率」は、直近値までの変化率。すべてプラスは当該通貨の増価を示す。
 「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週間前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。
 直近値以外の単位は%。
 網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)通貨、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)通貨を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[商品]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間		
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週前	2週前
WT I	75.48	+0.0	+5.7	▲2.0	+6.3	+6.6	▲0.2	▲2.6	+10.4	+10.7	+2.5	+1.6
北海ブレント	74.75	▲2.4	+2.5	▲2.0	+7.8	+10.0	▲0.7	+0.6	+5.0	+7.9	+0.1	▲1.8
ドバイ	69.43	▲2.3	+1.1	▲1.2	+10.7	+7.6	+2.1	▲2.1	+5.2	+4.8	+1.6	▲1.9
OPECバスケット	72.17	+1.4	+3.8	▲0.1	+7.7	+12.2	+0.7	+0.7	+5.5	+6.7	+1.6	▲2.0
金 (NY)	672.5	+4.3	+2.6	+1.9	+3.1	▲1.4	+3.1	▲3.3	▲1.5	+2.5	+2.6	▲3.6
銅 (NY)	348.45	▲1.3	▲2.2	▲1.9	+6.5	+14.2	+12.7	▲4.2	+1.8	+5.8	+3.8	▲5.4
アルミ (NY)	113.80	▲0.7	▲4.3	▲3.3	+5.7	▲2.6	+4.5	▲3.3	▲4.4	▲0.7	+1.7	▲4.1
鉛 (LDN)	3320	+197.2	+19.9	+11.8	+8.4	+5.5	+4.9	+15.7	+14.1	+16.7	+15.5	▲15.1
亜鉛 (LDN)	3360	+1.2	▲2.0	▲3.2	+0.0	▲6.5	+15.4	▲1.6	▲9.3	+5.8	+3.2	▲6.3
ニッケル (LDN)	29150	+19.5	▲19.7	▲4.3	+11.9	+8.2	+6.7	▲3.8	▲21.3	▲13.1	+7.5	▲13.1
スズ (LDN)	16100	+96.3	+16.5	+4.7	+9.6	+1.9	+2.6	+2.5	▲1.4	+16.5	+8.8	▲0.5
銀 (NY、現物)	13.06	+7.9	+3.7	+2.8	+4.5	▲5.3	+0.3	+0.2	▲7.6	+3.6	+2.1	▲4.5
プラチナ (NY、現物)	1291	+4.7	+0.6	+0.9	+5.9	▲0.6	+3.5	▲0.4	▲0.6	+1.3	+1.5	▲3.9
小麦 (シカゴ)	650.00	+64.5	+13.7	▲0.5	+1.5	▲7.7	+10.8	+6.5	+12.6	+8.2	+0.4	+6.0
大豆 (シカゴ)	222.20	+36.8	▲4.5	+4.0	+8.2	▲5.6	▲9.0	+12.5	+5.7	▲5.9	▲11.1	▲5.2
コーン (シカゴ)	326.50	+33.3	+2.0	+1.7	+5.3	▲11.9	▲4.4	+9.0	▲15.6	▲1.1	▲6.8	+0.9
CRB	318.17	▲9.1	+0.5	▲0.5	+3.7	+1.4	▲1.3	▲0.4	+1.4	+2.6	▲0.2	▲1.5
JOC	145.30	+14.9	+1.5	▲0.2	+2.7	+0.7	+2.3	+1.4	+1.3	+2.0	+1.5	▲0.8
日経商品指数 (17種)	151.34	+16.4	+1.9	▲0.7	+0.5	+1.5	+2.7	+0.3	+2.3	+3.2	+1.1	▲0.1
日経商品指数 (国際)	148.76	+8.4	+2.8	+0.6	+4.0	+3.8	+1.7	+0.1	+1.3	+3.3	+1.8	▲2.7

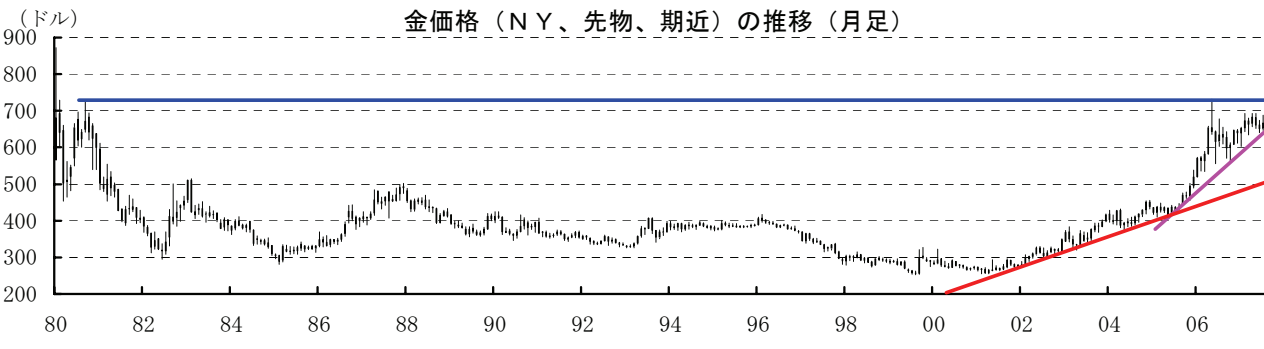
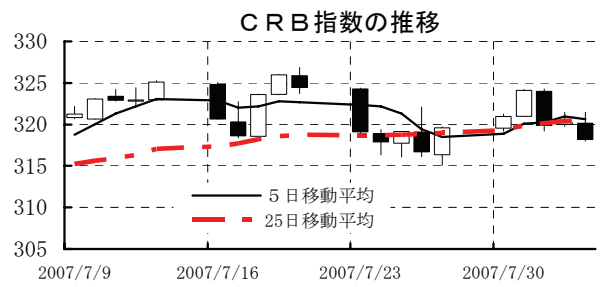
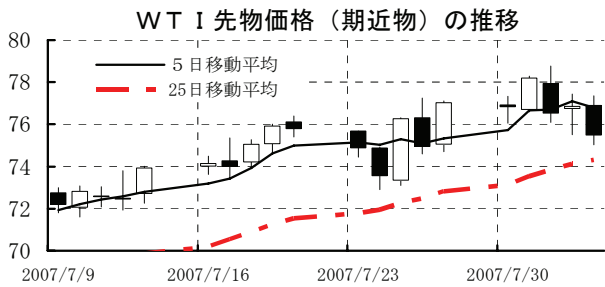
(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは商品価格の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化率(例: 4週前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。

直近値以外の単位は%。

OPECバスケット、日経商品指数(国際)は木曜日、日経商品指数(17種)は水曜日の値。

網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)商品、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)商品を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。